

## 環境省における花粉症に対する取組

木村 博承（環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課長）

### 1．はじめに

花粉症は、今や国民の5～6人に1人が罹患するとも言われるように国民的な広がりを見せており、日常生活に与える影響等による社会的損失も大きい疾患である。年々増加する花粉症に対して、関係省庁が協力して取組を進めているところであり、以下、環境省における花粉症に関する取組について述べる。

### 2．花粉に関する情報提供

花粉飛散に関する正確な情報や花粉に関する科学的知見を得ることで、花粉のばく露を防ぎ、花粉症を防いだり症状を軽減したりすることが可能である。環境省は、環境中の花粉による健康影響を防ぐという立場から、以下の取組を通じた花粉に関する情報提供を行っている。

#### （1）環境省花粉観測システム（愛称：はなこさん）の稼働

平成14年度より、環境省花粉観測システム（愛称：はなこさん）を稼働し、花粉の飛散状況をリアルタイムで広く一般の方々に情報提供している。平成20年4月からは、これまで情報提供を行っていた関東、関西、中部、中国・四国、九州地域に加え、北海道・東北地域における情報提供を開始した。

#### （2）スギ・ヒノキ科花粉総飛散量予測及び花粉終息予測等の公表

全国のスギ科及びヒノキ科の花粉発生源分布を調査し、花芽調査による雄花着花量の推計を行い、花粉飛散開始前に、都道府県別の花粉総飛散量の予測を毎年公表している。

また、花粉飛散開始後（2月頃）からは、スギ花粉飛散開始が確認された都道府県を表示した「スギ花粉飛散開始マップ」をホームページ上に掲載している。さらに、スギ・ヒノキ科花粉飛散がピークを超えた時点で、スギ・ヒノキ科花粉飛散終息予測を公表している。

#### （3）花粉症保健指導マニュアルの作成

平成15年度より、環境保健活動にかかわる方々に最新の科学的知見や関連情報を紹介し、活動に利用されることを目指して「花粉症保健指導マニュアル」を作成し、新しい知見をもとに定期的に更新している。マニュアルには、花粉の種類や飛散状況といった花粉に関する基礎知識から、花粉症を防ぐための方法など、花粉症に対する保健指導に活用できる情報を掲載している。作成したマニュアルは、全国の保健指導関係者等に広く配布するとともに、環境省のホームページで公表している。

### 3．花粉に関する調査研究

花粉に関するより精度の高い情報提供や、花粉飛散対策に繋げること等を目的として、以下の調査研究を行っている。

( 1 ) 花粉飛散動態に関する調査研究

平成 17 年度より、花粉飛散数値モデルの開発を行い、花粉の飛散動態の解明を進めている。平成 20 年度は、既に開発されている雄花着花量分布推計モデル、林地における雄花開花モデル及び林地における花粉放出モデルの精度検証と改良や、スギ・ヒノキ科花粉の移流・拡散モデルの構築と整備を行う予定である。

( 2 ) 日・時間単位の花粉量予測実現へ向けた手法の開発

日・時間単位予測の情報提供を視野に入れ、花粉飛散数値予報システムの検討、基礎設計を行い、平成 20 年度は関東地方を対象として試行的な予測を実施する予定である。

( 3 ) スギ・ヒノキ科以外の花粉観測・予測の検討

平成 20 年度は、シラカバ、ハンノキ属等のスギ・ヒノキ科以外の花粉の予測等について、手法及び試行的実施の可能性について検討を行っている。

4. おわりに

近年、花粉症に対する国民の関心は高まっており、的確で効果的な花粉症対策を実施することが求められている。花粉症の予防、治療及び花粉回避のためには、花粉飛散開始日予測を含めた花粉情報や飛散状況の把握が重要であり、環境省としても、引き続き、より精度の高い花粉情報の提供をはじめとした花粉症に対する取組を行っていくこととしている。

環境省における花粉症に対する取組については、以下のホームページで公表している。

環境省花粉情報サイト <http://www.env.go.jp/chemi/anzen/kafun/>

スギ花粉飛散開始マップ <http://www.env.go.jp/chemi/anzen/kafun/html/map.html>

花粉症保健指導マニュアル <http://www.env.go.jp/chemi/anzen/kafun/html/001.html>

環境省花粉観測システム URL <http://kafun.taiki.go.jp/>

携帯版 <http://kafun.taiki.go.jp/mobile/>